

発行：2024年 12月 17日
発行所：公益社団法人日本建築家協会（JIA）近畿支部和歌山地域会
和歌山市ト半町38 建築士会館 2F
073-432-1558
jia.wakayama@iris.eonet.ne.jp

編集：広報委員会 西本 寛史

表紙：「不二設計」
生駒 義範 <不二設計>

JIA 和歌山地域会

<正会員>

生駒 義範 ／不二設計	柴本 米一 ／サイモン建築設計室	谷岡 拓 ／榊垣田設計	西本 寛史 ／nha
岩脇 邦樹 ／榊垣田建築計画	島 桐子 ／アトリエクワン級建築士事務所	辻岡 直樹 ／辻岡直樹建築設計事務所	橋本 浩行 ／橋本浩行建築設計室
上野山 和男 ／建築設計事務所カオス	城本 章広 ／城本建築設計事務所	中西 重裕 ／榊一級建築士事務所 K&N アーキテツ	橋本 雅史 ／榊キューブ建築研究所
川 広樹 ／榊川建築事務所	瀧川 嘉彦（地域会長） ／榊瀧川建築デザイン事務所	中野 肇 ／一級建築士事務所楽工舎	山中 淳 ／一級建築士事務所理想建築工房
小谷 真司 ／小谷建築設計事務所	橋 雅彦 ／エテルノ建築設計事務所	中道 哲也 ／榊スタジオパートナー	山野 公嗣 ／スペースデザイン

<協力会員>

(株)アルプス (株)ウチタ AGC硝子建材(株)和歌山支店 (株)遠藤照明 営業本部 大阪支店 大阪ガスケミカル(株) 大芝建材(株)和歌山営業所 オーロン物産(株) カドヤ(株) 紀陽ダイキン空調(株) ダイキン工業(株)空調営業本部 設備営業部 コイズミ照明(株)大阪第2営業所 小松ウォール工業(株)和歌山支店 (株)コムラ (株)酒直	(株)サニコン 三協樹脂建材(株) 三和シャッター工業(株)和歌山営業所 (株)総合資格 和歌山校 (株)ダイキアックス和歌山営業所 タケヤテック(株) 大光電機(株)大阪支店和歌山事務所 太陽工業(株) (有)土橋鋳金工作所 (株)ディーケーワークス TOTO(株)阪奈和支店和歌山営業所 (株)ナルセ ナブコドア(株)和歌山営業所 (株)日本システム家具	(株)ハイブリッジコーポレーション パナソニック(株)エレクトリックワークス社 和歌山電材営業所 HARA設備 (株)富士商会 フジテック(株)和歌山営業所 村上建設(株)環境事業部 (株)LIXIL リビエラ(株)大阪支社 (医)黎明会 健診センター・キタデ YKK AP(株)関西支社ビル和歌山支店 (株)和歌山ナセリー 和歌山ベストン(株)
---	--	---

事務局より -Schedule-

9/2 近畿支部大会実行委員会 / web
9/5 広報誌「J.W.vol.033 2024」発刊
9/10 9月月例会、近畿支部大会実行委員会 / JIA 事務局、web
9/20 建築三団体まちづくり協議会運営委員会 士会・事協・JIA / 建築士会館 3F
9/21 JIA 近畿支部建築倶楽部主催「岩橋千塚古墳群と資料館を訪ねる」/ 紀伊風土記の丘
10/8 10月月例会、近畿支部大会実行委員会 / JIA 事務局、web
10/11-13 新潟建築ツアー（山野、中道、橋本雅、小谷、山中、辻岡、谷岡）/ 新潟
10/23 広報取材（生駒、西本）/ 不二設計
10/25 10月勉強会（出席 13名）/ 建築士会館 3F
コイズミ照明（株）様
今、流行りのライン照明！！～失敗しない間接照明の施工方法について～
「新潟建築視察旅行報告会：新潟の建築を語る」
10/29 和歌山県主催：和歌山県長期総合計画見直し（案）説明会（瀧川）/ 建築士会館 3F
11/6 建築三団体まちづくり協議会運営委員会 士会・事協・JIA / 建築士会館 3F
11/12 11月月例会 / JIA 事務局、web
11/22 2024年度近畿弁護士会連合会人権擁護大会シンポジウム(谷岡) / 和歌山城ホール
11月勉強会（出席 名）/ 建築士会館 3F
小松ウォール工業（株）様 「トイレブース：現在の動向と最新オプション詳説」
吉永規夫氏/Office for Environment Architecture「健康な建築をめざして」



Wakayama

■「岩橋千塚古墳群と資料館を訪ねる」報告 (9/21)

9/21 (土)、近畿支部の建築倶楽部主催 (当会は協力) で表題の講演会と見学会が、紀伊風土記の丘にて開催された。講演会場の資料館は松下記念資料館 (1970) と呼ばれ、松下幸之助が寄付し、建築家・浦辺鎮太郎 (1909-1991) が設計した名建築である。元和歌山市立博物館館長の寺西貞弘氏の講演は、岩橋千塚の特異性を日前宮や大和政權、伊勢神宮との関係から解説される等、古代史の魅力に引き込まれた。和歌山大学システム工学部の平田隆行准教授は、資料館を中心に松下幸之助が和歌山の建築文化へどのように関わろうとしていたのか研究裏ネタを織り交ぜ楽しく講演いただいた。解散後、近くにある埋蔵文化財収蔵庫 (1974・浦辺鎮太郎設計) も見学したが質実剛健ないい建築だった。



榎田設計 / 谷岡 拓



■新潟建築ツアー (10/11 ~ 10/13)

10月11日から13日に7人で二泊三日の新潟建築旅行に行ってきました。当初ルート案をまとめた後で新しい見学先を追加した為、最終的には昨年の山形建築旅行の15施設を更新し、20施設になっていました。タイトなスケジュールで、初日と2日目の昼食はコンビニで済ませるというハードな旅行になりました。特に印象に残った建築は渡邊洋治設計の「斜めの家」と村野藤吾設計の「谷村美術館」です。「斜めの家」は一見奇抜なデザインのように見えて、見学してみると住む人のために細部までよく考えられた住宅でした。「谷村美術館」は施設の方のご配慮で人工照明を消して自然光で見学させていただきました。天井から降ってくる光や壁から溢れてくる光で仏像が照らされ、とても美しく、感動しました。次回はどこに行こうか企画中です、また皆さんの参加をお待ちしています。



スペースデザイン / 山野 公嗣



■10月勉強会 (10/25)

10月の勉強会は協力会員のコイズミ照明様による「ライン照明」のご紹介とJIA、W恒例の「弾丸建築ツアー IN 新潟」の報告会でした。コイズミ照明のライン照明はコンパクトでスリムな設計で天井や壁面にも埋込みが可能、光源や接続部分の色ムラもなく、調光や色調の変更も可能で、いわゆる建築化照明として非常に使い勝手のよさそうな製品で、面白い使い方を考えてみました。建築ツアーは相変わらず盛沢山なスケジュールで、建築三昧の濃密な旅のようでした。私も実際に見てみたい建物はたくさんありましたが、このツアーには体力がついていく気がしません。参加された方にはうらやましい限りでした。



アトリエクウ一級建築士事務所 / 島 桐子



Q.1 生駒さんが建築を志したきっかけはなんですか？

A.1 僕は大学は化学に進みたかったんだけど、友達に「これからは建築の時代や！」っていわれてね。建築を専攻して卒業後はゼネコンに入り、大阪勤務でした。和歌山市のNTT西日本もやりましたね。おつきあいのあった和歌山の津本建築設計事務所さんが飲み仲間て、親戚の娘さんを紹介してくれて結婚に至りました。津本さんも自社に招いてくれたので、奥さんと一緒に帰る事にしたんです。ゼネコンにいた経験もあって、津本さんのところでかなりの図面をやりましたね。現場に行って、帰って夜に図面を書いたの繰り返し。津本さんのところは当時和歌山市内でもトップクラスの物件数をやりましたよ。

N. 寝る暇もないですね！

うん。寝る暇もないというか…まあよく飲みましたね。津本さんもお酒が好きで (笑) 一級建築士を取得して平成元年に独立。不二設計は二人とあらずという意味でね。最初は二人で始めましたが、色々あって解散したので現在のスタッフは宮本くんひとりですね。

Q.2 好きな建築家は誰ですか？

A.2 出江先生 (出江寛氏) が僕は好きでね。建築家には哲学が必要で、その辺をわかったうえで真実を探求していく。出江先生はそういう志を持たれていたからね。好きな作品といえば色々な建築家さんのものがあるけど、こちらは好きだけじゃああちらは？という事がある。出江さんは建築家として対話をして、吸収するものがある方。家までおしかけてお酒を飲んだこともあるよ。(笑)

Q.3 生駒さんのONとOFFの切り替えはどうされていますか？

A.3 僕は田舎が有田なので百姓もやっています。みかんを作っていて、農作業をすると別の身体や頭を使ってほっとするね。人間には切り替えられるものが絶対必要なんだよ。特に百姓は土の良さっていうのも見えてくるね。

N. この時期、みかんは忙しいんじゃないですか？

あまりいいものが出来てないんだよ。年に一度の収穫までのプロセスがうまくいってないよなあ。ミカンは摘果して木を大きくしていくから、収穫するのに何年かかるやら。建築家としてもものづくりをしているけど、作物を作ることに同じ喜びがあるね。

Q.4 お客様との意見のすり合わせはどうやってされていますか？

A.4 建物は全てお客様のものですから、要望はきかないといけない。しかし要望を全て聞いていたらこんなもの出来るわけがないという場合がある。なぜできないかという説明をきっちりする事ですね。僕も結構気が短いから色々衝突もしましたが、それでもお客様がついているのは信頼をいただけているという事。お客様はやはり素人です。プロに専門的なことを言われるとそういうものかと思う。だけどやっぱりどこかでひっかかっていて、現場が終わった時に違うじゃないかとなる。きちんと説明しましたといってももうダメ。本当に難しいね。だから我々の人間性を先にも買ってもらった方が、長くお付き合いができるしよいものができると思いますね。

Q.5 広報活動や営業活動はされていますか？経営上心がけている事は？

A.5 営業はしないねえ。でもよく電話はいただけます。生駒さん、あそこの建物やったん？僕のところもちょっと見に来てくれへん？といった具合にね。経営上気を付けている事…それはもう健康でしょうねえ。

WORKS

共栄テクシード事務所ビル

「コンクリートの表情」

外観は全て本実型枠打放である。

モックアップ制作には本実のまま、浮造り加工、撥水材使用ありと無し、数種類行った。検討のかがいがあり、コンクリート打設後は杉板の木目がよく出ている。内観では来客者を引き込むため、建物の一部玄関周りに本実型枠を使用した。階段ホールは広く見せるために持出し階段にする。踏板はすっきり見せるために苦労した。2階会議室・階段ホール等いたるところに絵画や陶器を設置している。客先は芸術には博学であり、とてもいい雰囲気、よい眺めでもある。3階部分には和室も設けている。次回はOSB型枠の外観にする予定である。



JIAに入ってほしいな…

協力会員 YKK AP 併



頑張れ若人！

宮本です！



事務所入り口に掲げられた言葉。穏やかな世界を望みます。



生駒さん！現役バリバリですね

Q.6 生駒さんのこだわりのアイテムはありますか？

A.6 食事を作るの好きなんです。出汁も昆布からとって、卵料理もするし。これもものづくりやね。

Q.7 今後はどのようなものを建築したいですか？

A.7 僕はオーディトリウムをやりたいかな。音楽の公会堂とかね。若かったらやりたかった。住宅も面白いけど、温熱環境でどんどん法律的に課せられていく昨今の風潮がちょっと嫌やなあ。それは手間がかかるという問題ではなく、住む人の立場でいいなという事がひとつないよな。

Q.8 生駒さんが建築をデザインされる手順は？

A.8 敷地の前にまず立って、まわりの風景をみて外観から決めていきますね。それから内部を考え出します。

N. 内部との整合性がとれなくなったりしませんか？

そやねえ。光の見せ方なんかもあって、外もいろいろ修正していきます。頭の中で組み立てていってるね。

N. アプローチの仕方はいろいろですね。自分の建築にこだわりはありますか？

ディテールは自分でやりたい。ディテールのまずさが欠陥につながるからね。きちんとしたものの納まり方がわかってないと、水の通りが描けない。以前ビルの雨漏りで地下から水があがっていたという事があってね。ディテールというのは細心の注意が必要です。

Q.9 最後にJIAにひとこといただけますか？

A.9 若い人にどんどん頑張ってもらいたいねえ！質問があれば、僕で分かる事ならお答えしますよ。宮本君ももっとどんどん出て行かないとあかんよ〜 (笑)

仕事場を訪ねて -Visit Office-

和歌山市塩屋にある不二設計。実はこちら独立前にお勤めだった津本建築設計事務所時代に生駒さんが設計した建物なんだそうです。家主さんとは今もお付き合いがあり以前は和歌山市駅の近くに事務所をかまえていましたが「生駒ちゃん！一階があいたから入ってよ〜」という一言でこちらへ。この家主さんは何かあったらすぐ僕に言ってくれるんだよね。と生駒さんもうれしそう。現在は宮本さんというスタッフと2人体制。案件を3つもかけもちしてくれている頼りになる存在なんですって。来年75歳を迎えるという生駒さんのお話は含蓄があって、聞き取りやすく、心に残ります。取材でも思わず聞き入ってしまい、本当にお話を切り取るのが辛かった編集者なのでした。(泣)

File.15 不二設計

取材・編集 / nha



Wakayama JIA MAGAZINE